

特別賞に矢澤博さん(栗山)ほか6点

『横芝ぶどう』 出来は上々

八月五日、町農業振興会果樹部会(高橋三郎部会長)主催による「横芝ぶどう」共進会が、中央公民館で開かれ、特別賞に矢澤博さん(栗山・品名テラウエア)他6点選ばれました。

この共進会は、栽培技術の改善、品質の向上を図るとともに、生産性の高い果樹経営をめざすことを目的として始められたもので、今年で五回目になります。

今年、町内ぶどう栽培農家十六戸から五十一一点出点され、房の形、粒ぞろい・果色などの外観や、食味・糖度など、農業改良普及所の審査員によって厳正に審査されました。

受賞者は次のとおりです。

〔特別賞〕

▽千葉県園芸協会会長賞 矢澤博 (栗山)

▽千葉果樹園芸組合連合会長賞 高橋満好 (栗山)

▽千葉県農業試験場長賞 石川益夫 (栗山)

▽山武農業改良普及所松尾支所長賞 奇藤泰次 (横芝)

▽横芝町長賞 藤井秀一 (栗山)

▽横芝町議会議長賞 奥崎 国夫 (栗山)

▽横芝町農業振興会長賞 越川定 (栗山)

〔一等賞〕

田島徳二郎 (栗山)

井上利男 (横芝)

渡邊源一 (栗山)

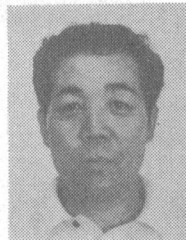


▲ ずらり並んだ名産「横芝ぶどう」の審査会場

ぶどう共進会で特別賞を受賞した矢澤博さん(栗山)

経営の概況と家族

田三〇アール、畑三〇アール、ぶどう二〇アール、ぶどうの品種はテラウエアが主体、これを労働力四人で行っています。家族は、両親と私達夫婦、それに子供二人です。



矢澤 博さん

経営を始めた動機

始めたのは昭和三十五年頃、それまでは畑作が主体で、つま、いも、落花生、それに乳牛を五頭ほど飼っていましたが、ちょうど農業の転換機に当たっていた時もあり、近所のぶどう栽培農家が経営に成功している例を見ていましたから。

苦労話など

昭和四十二、三年頃、ジベレリン(種なし)処理導入当初に、樹性と果房のアンバランスから着色がうまくいかず、収穫がでなかつたことです。

今後の問題点と方向

質の良いぶどうを作るには、

土壌を肥やして

良質ぶどうを

しっかりとした樹でなければダメです。そのためには化学肥料のみにたよらず、乾燥鶏糞などの有機質肥料を投入して、土壌管理を十分に維持していくことが大切だと思います。

千葉県議会議員補欠選挙の投票日は9月17日です

あなたの一票を県政に活かして下さい

午前7時～午後6時